

平成 26 年度 青少年健全育成事業

夢プラン 21 事業報告書



平成 26 年 10 月 19 日
ベストアメニティスタジアム

鳥栖市・夢プラン 21 実行委員会

～ はじめに ～

鳥栖市では、次世代を担う子どもたちが地域の支援を受けながら夢をかなえるプロセスを経験することによって、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、希薄化する世代間交流や地域交流につなげようと、平成17年度から青少年健全育成事業「夢プラン21」を実施しています。

10年目となる今年度は、269件の夢の応募があり、夢プラン21実行委員会において、「スタジアムのピッチで人文字を作って、みんなで思い出を作りたい」という1つの夢を採択しました。夢を提案した子どもたちは、たくさんの支援を受けながら、夢実現に向けた取組を実施しました。

この冊子は、その活動報告をまとめたものです。青少年健全育成への取組や、世代間交流、地域交流の活性化に向けて活動する方々の参考にしていただき、「みんなで築く市民協働のまちづくり」へとつながっていく足掛かりになることを願います。

～ 目 次 ～

	ページ
1. 「夢プラン21」事業概要、取組概念図・・・・・・・・・・・・・・・・	2～3
2. 夢プラン21実行委員会審査経過・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3. 採用された夢・・・・・・・・・・・・・・・・	5
4. 取組の経過・・・・・・・・・・・・・・・・	6～7
5. 取組の感想・・・・・・・・・・・・・・・・	8～11
6. 夢プラン21事業を終えて・・・・・・・・・・・・・・・・	12
7. 平成26年度夢プラン21実行委員会委員名簿・・・・・・・・	13

1. 「夢プラン21」 事業概要

■ 趣 旨

次世代を担う子どもたちが、地域の人々の支援を受けながら「夢」を実現するプロセスを通じて充実感や達成感を得ることによる、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、希薄化する世代間交流や地域交流の活性化につなげる。

子どもから応募があった夢を、子ども夢審査委員会・実行委員会で審査決定後、市民協働の視点から実施団体である「てだすけ隊」を公募し、市民活動団体等が主体となって、夢実現のための支援を行う。

■ 事業概要

(主 催) 夢プラン21実行委員会・鳥栖市

(期 間) 当年度中

(事 業 費) 総額50万円(平成26年度予算)

(事業の流れ)

- ①市内小学4年生から中学3年生を対象に、実現したい夢を募集
- ②夢プラン21子ども夢審査委員会による夢の審査
- ③夢プラン21実行委員会による夢の審査
- ④採用予定の夢を選定、「てだすけ隊」を募集
- ⑤採用する夢及び「てだすけ隊」の決定
- ⑥夢が採用された子どもたちと「てだすけ隊」による計画・準備・実現

■ 夢の選考基準

(期 間) 原則年度内に実現できるもの

(場 所) 鳥栖市内で実現できるもの

(その他の基準) ○子どもたちが自主的に考えて実現できるもの

○子どもたちが集団で参加できるもの

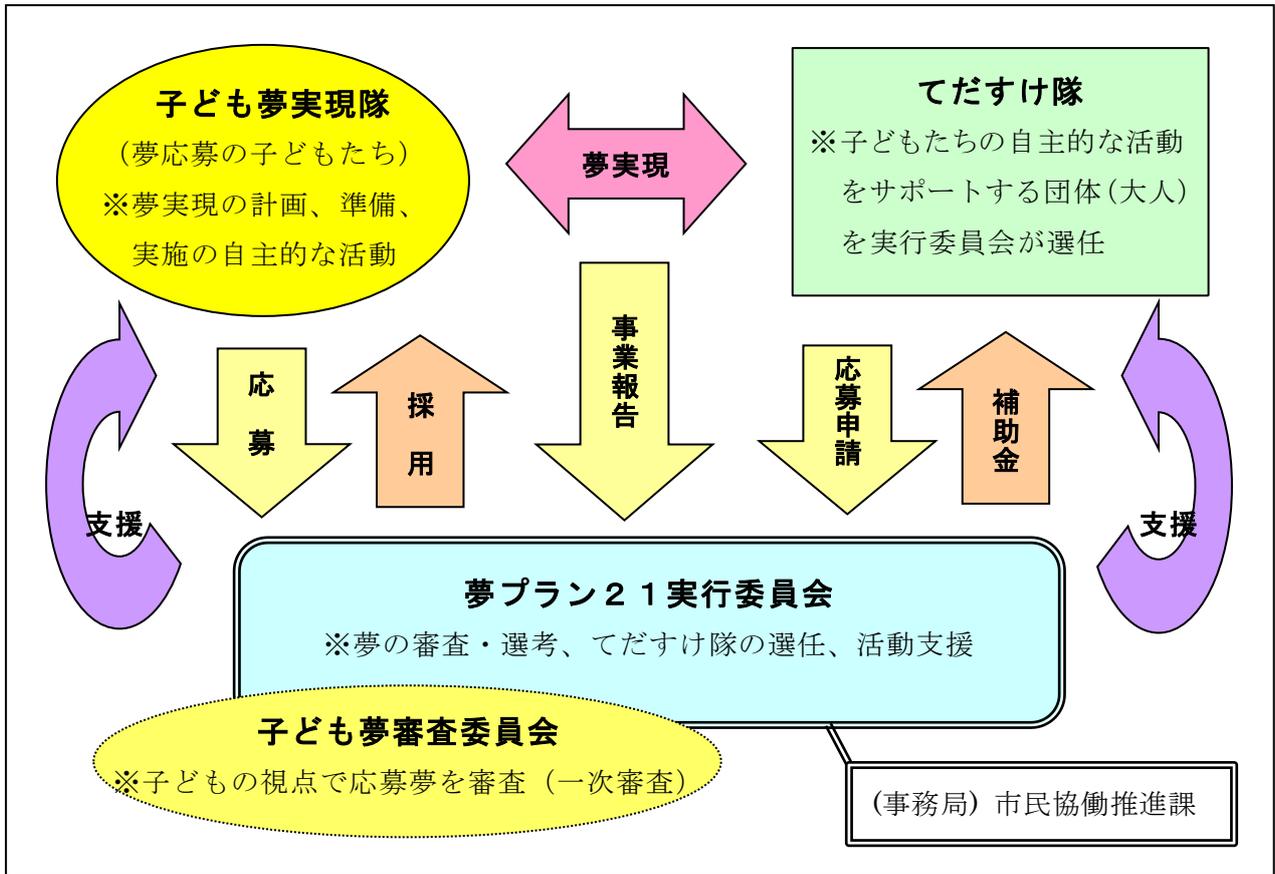
○独創的でこれまで夢プラン21で取組んでいないもの

○社会参加により社会の制度や常識を習得できるもの

■ 期待する効果

- ✚ 子どもたちの自主性、協調性の育成
- ✚ 市民活動団体の社会貢献活動参加の促進と育成支援
- ✚ 世代間交流の実現、市民協働のまちづくりへの意識付け
- ✚ 地域活動の活性化と市民協働のまちづくりの実現

《取組概念図》



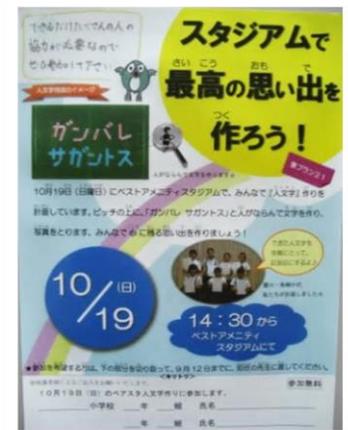
2. 夢プラン21実行委員会審査経過

期 日	会 議 等	概 要
平成26年 4月3日～ 4月22日	「夢」の募集	小学生から260件、中学生から9件、計269件の“夢”の応募を受付ける。
5月14日	子ども夢審査委員会	子どもの視点で ①やる気が感じられる【積極性】 ②いろいろな人が関われる【協働性】 ③計画性がある【実現性】 の3点について点数を付け、夢をランク付け。
5月15日	第1回実行委員会	子ども夢審査委員会の審査結果と実行委員の審査資料をもとに、てだすけ隊を募集する夢の絞込み。
5月29日	第2回実行委員会	夢を応募した子どもへの聞き取り結果をもとに、てだすけ隊を募集する夢を決定。
～7月9日	てだすけ隊の募集	市報・市ホームページでの広報及びまちづくり推進センター・とす市民活動センターへの募集チラシ掲示等により周知。
7月16日	採用決定通知書交付式	採用された1件の夢について、夢の提案者(7名)へ採用決定通知書を交付。
平成27年 2月9日	第3回実行委員会	事業報告



3. 採用された夢

採用夢	夢の提案者	事業概要
<p>「スタジアムのピッチで 人文字を作って、みんなで 思い出を作りたい」</p>	<p>寺崎 蒼 (鳥栖小6年) 陣内綾那 (鳥栖小5年) 森 千尋 (鳥栖小5年) 立石美月 (麓 小6年) 内田あこ (麓 小6年) 坂口彩音 (麓 小6年) 宮野くるみ (麓 小6年)</p>	<p>ベストアメニティスタジアム のピッチで人文字を作る。 人文字のデザインは、サガン 鳥栖など、鳥栖市に関連する もの。作った人文字を写真に 撮り、写真入りの記念品を作る。</p>



4. 取組の経過

「スタジアムのピッチで人文字を作って、みんなで思い出を作りたい」

活動日程・場所	活動内容
7月下旬～8月 (鳥栖小・麓小)	<p>人文字デザインの考案及びPRチラシ・ポスターの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> *学校別に作業を進め、最後に2校合同での打ち合わせを行った。 *鳥栖小・麓小の全児童にチラシを配布し、参加者を募集した。 *手書きのポスターを一人1枚作成した。
9月上～中旬 (市内各所)	<p>PRポスターを市内各所に掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> *作成したポスターを市内各所に持参し、掲示を依頼した。(掲示依頼先は子どもたちが選定)
9月中～下旬 (市内各所)	<p>人文字参加者募集の街頭PR(チラシ配り)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「九州まん祭」イベント会場(都市広場)にて ②フレスポ鳥栖にて ③JR鳥栖駅前にて ④新鳥栖駅前にて
10月上旬 (麓小)	<p>人文字に使用する布パネルを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> *布を切抜いて、「ト」「ス」「60」の布パネルを作成した。
10月18日 (BAスタジアム)	<p>スタジアム内の下見</p> <ul style="list-style-type: none"> *参加者を誘導する経路等を確認し、最終の打ち合わせを行った。
10月19日 (BAスタジアム)	<p>スタジアムのピッチで人文字の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> *鳥栖小・麓小の児童及び保護者、その他一般の参加者を含めて350人以上の参加があった。 *あらかじめピッチ上に、ひもで文字のラインを引き、その上に参加者を誘導して人文字を作った。 *①「ガンバレサガントス」と②新幹線の絵の2種類の人文字を作り、スタンドから写真を撮った。

活動日程・場所	活動内容
12月上旬 (鳥栖小・麓小)	人文字参加者に記念品を贈呈 ＊人文字の記念写真（写真立て付）及び写真をプリントしたクリアファイルを贈呈した。 ＊鳥栖小・麓小の参加者には各校内で手渡し、その他一般参加者には郵送等により送付した。
12月4日 (北部グラウンド)	サガン鳥栖選手に記念品を贈呈 ＊人文字（「ガンバレサガントス」）の写真をプリントしたサッカーボールに寄せ書きを書いて贈呈した。
12月16、17日 (鳥栖小・麓小)	鳥栖小学校、麓小学校に記念品を贈呈 ＊人文字の写真入り記念盾を各学校長に手渡した。
12月18日 (新鳥栖駅)	新鳥栖駅に記念品を贈呈 ＊人文字（新幹線の絵）の写真入り記念盾を駅事務所に贈呈した。



5. 取組の感想

子ども夢実現隊

立石 美月、内田 あこ、坂口 彩音、宮野 くるみ、
寺崎 蒼、陣内 綾那、森 千尋

夢プランで、人と協力すること、人を集める大変さなどを学びました。でも、たくさんの人を集めることにやりがいを感じました。

正直言うと、大変で緊張して…、でも楽しかったです。採用が決まったときは、「自分なんかにはできるかな…」と思っていました。でも、いろいろな場所にチラシを配りに行くうちに、「がんばろう！」という気持ちに変わっていきました。

この経験は、一生に一度のもので、とても大切な時間でした。この経験は、絶対にいかされると思います。

夢プランは、自分の心と体を一回りも二回りも成長させてくれる時間でした。ありがとうございました。



本番に向けていろいろな準備をする中で思ったことは、いろいろな人に、いろいろな協力してもらったということです。

人文字の下描きを手伝ってくれた方や、テレビに出た時に裏でいろいろな機械を使って私たちを映してくださった方など、本当にいろいろな人に支えられて、この夢プランは成功できたと思います。

この夢プランに協力してくださった方全員に感謝したいです。



学校の違う子たちと一緒に協力してできたことがよかったですと思います。また、学校の先生の Birthday 企画ができたことは、先生にも喜んでいただけて、うれしかったです。

人文字が成功したこと、たくさんの方が集まってくれたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。

一つ、人文字当日の写真を撮るまでの間、受付やお手洗いの場所がもう少しわかりやすいように、案内図を置いていたらと思いました。



一番印象に残っているのは、少しでも多くの市民の方に人文字に参加してもらえるよう、呼びかけをしたことです。私は、「市民の人たちが笑顔になれるような行事がしたい」との気持ちから、この夢プランを考えました。だから、呼びかけの一言一言、チラシの一枚一枚に心を込めました。初めてのことで不安もいっぱいでしたが、別の小学校の人とも協力して取り組むことができました。

人文字当日は350人以上の人が来てくれました。とてもうれしかったです。半年間がんばり続けて、大成功で終わることができました。私の夢、「市民の人たちがもっと笑顔になれるようにしたい」、しっかりかなえることができました。

そして、この活動から学んだこと、それは、あきらめずに努力することで夢に近づけることです。このような貴重な体験をさせてくださったみなさんに感謝します。これからも、今回学んだことをいかしていきたいです。



この夢プランに取り組んで、とてもよかったですと思います。それは、友達と別の学校の仲間と市民の方と協力して、人文字を作ったからです。

いい天気だった人文字当日の朝、私はとてもわくわくしていました。

人文字を作るには、とても時間がかかりました。無事に終了しましたが、はっきり言うと、とても疲れました。私は、この疲れからあることを学びました。それは「疲れたとしても協力すればいい」ということです。この人文字作りでは、協力が大切でした。

また、他の小学校の人と協力することはとてもいいことです。今回私は、別の小学校の仲間と仲良くなりました。

この夢プランは、とてもいい思い出になりました。これからもいろいろな夢プランに参加してみたいです。



夢プランの活動をふり返って学んだことは、「協力」と「努力」です。約半年間を通して、この2つのことをあらためて勉強しました。

他の学校の人とも、最初は全然話さなかったけど、時間がたつにつれて話すようになりました。

夏休みや学校の休み時間などにみんなで集まり、いろいろと考えて意見を出し合いました。私は自分の意見を出すのが苦手だったけど、夢プランで苦手を克服することができました。

ベアスタの下見では、「こんな大きな場所でするんだ…」と、あらためて実感しました。

心に残ったことの1つは、人文字が無事に完成したこと。2つ目は、サガン鳥栖の選手に人文字の写真入りサッカーボールを渡したこと。3つ目は、学校に記念の盾を贈ったことです。それから、予想以上の市民の方が人文字に参加してくれたことに本当に感謝しています。

半年間、楽しかったし、たくさん学びました。



心に残ったことは、みんなで協力して人文字を作れたことです。また、雨も降らずに予定通り人文字を実行できて、とてもうれしかったです。

この夢は、友達と話し合っって応募しました。選ばれたときはびっくりしました。

その後、2つの学校の、7人で人文字作りに取り組むことになり、みんなで何回も話し合いました。

当日は入口で案内したり、ピッチで並ばせたり、とても疲れました。でも、とても楽しかったです。

将来の夢がかなったわけではないけれど、自分たちが実行した夢がかなってよかったです。いい思い出ができました。



夢プラン21事業を終えて

夢プラン21は、「子どもの夢の実現」を市が事業化した、全国でも珍しい取組です。取組は今年で10年目を迎え、昨年度までに22件の夢を実現しました。

今年度は、7人の小学生が、スタジアムの青々としたピッチに人文字を描く夢を掲げてくれました。人文字に必要な人数、文字の作り方など、7人で意見を出し合って計画を立て、一歩ずつ取組を進めました。

取組の中で、時には壁にぶつかることもありますが、さまざまな経験が夢実現の大きな達成感につながるといえます。当初、人文字の参加者が思うように集まらず、本当に人文字を実現できるのか不安になったことがありました。そんなとき、子どもたちは、再度学校で募集チラシを配布したり、校内放送で参加を呼びかけたり、できることを探して最後まで諦めずに取組みました。

そして人文字当日、予想を上回るたくさんの方が、子どもたちの夢実現のため、スタジアムへ駆けつけてくださいました。人の配置はバランスが難しく、文字になるまで時間を要しましたが、参加者の温かな協力のもと、2種類の人文字を完成させることができました。夢を実現した子どもたちは少し疲れた様子でしたが、その表情は大きな達成感で満たされていました。

夢プラン21の取組では、学校の仲間や地域の大人など周りの支援を受けながら、子どもたちが夢を実現していくプロセスを大切にしています。こうした世代間交流が、“おかげさま、おたがいさま”の気持ちが自然と溢れる地域の絆につながっていくことを願います。

最後になりましたが、この事業にご協力いただきました多くの企業・団体・ボランティアの方々・市民の皆様に対し、この場を借りましてお礼申し上げます。

夢プラン21実行委員会
会長 菅原賢史

《平成26年度夢プラン21実行委員会委員名簿》

役員	氏名	所属団体
会長	菅原賢史	一般社団法人鳥栖青年会議所
副会長	増田悟	鳥栖市区長連合会
	山口由美子	鳥栖市子どもクラブ連絡協議会
	宮原朋美	鳥栖地区小中学校PTA連合会
	池上明子	とす市民活動センター
監事	庄嶋巖	鳥栖市校長会
監事	吉田眞由美	子育て支援総合コーディネーター

平成26年度青少年健全育成事業 夢プラン21事業報告書

作成・発行：夢プラン21実行委員会事務局

〒841-8511

佐賀県鳥栖市宿町1118番地 鳥栖市市民協働推進課内

T E L : 0 9 4 2 - 8 5 - 3 5 7 6

E-mail : kyoudou@city.tosu.lg.jp



平成27年3月